

活動報告

「スーパーインターン養成講座」に 取り組んで

金沢大学経済学部地域経済情報センター 安嶋 是晴
チーフコーディネーター

2005年9月から2006年1月までの5ヶ月間、地域経済情報センターでは、特定非営利活動法人起業ネットかなざわと共催で、「スーパーインターン養成講座」に取り組みました。

近年、学生のインターンシップは、職業観や就労意識を向上させる手段として、その重要性が注目されていますが、事前のトレーニングの不十分さや学生・企業のミスマッチなどにより、十分な成果をあげられずに終わるケースも少なくありません。

そこで今回、これまでのインターンシップ事業の現状を鑑み、以下の3点に留意した講座を企画・実施いたしました。

まず、1点目は、インターン派遣前研修の徹底です。これは、参加学生に対し、派遣前の9月、10月の2ヶ月間、ビジネスマナーの講座に加え、財務分析などの経営学講座、発想法、プレゼンテーション、ディベートなどのスキルアップ講座など、多面的かつ専門的な講義やトレーニングを行い、受け入れ企業の高度なニーズに対応することを目指しました。

2点目は、受け入れ企業と学生とのマッチングです。企業については、参加学生の希望業種を聞きつつ、当センターが企業訪問し、インターン生受け入れを依頼いたしました。そのときに、企業側に申し上げたのは、受け入れ学生を単なる単純労働者として捉えるのではなく、学生の視点による企業への企画案や改善提案などへの期待を持っていただきたい旨や、学生への企業PRといった利点の理解、さらに学生に対するインターンを通



じて教育指導を行うことの社会的意義への理解などです。こうした考えにご賛同いただき、北村労務会計事務所、(株)佃食品、(株)都市環境マネジメント研究所、北陸放送(株)、(株)北陸銀行(順不同)の5社にインターン生受け入れていただきました。さらに受け入れまでに数回、実施カリキュラムの作成のための事前打ち合わせを行い、インターン開始前にも学生と企業担当者との面談機会を持ちました。

3点目は、インターン実施中のフォロー体制です。インターン実施期間は、11月、12月の2ヶ月間と比較的長期間の設定とし、企業の課題解決や事業の企画などに実質的に関与できるように配慮しましたが、長期になると事前には想定していなかった問題や困難に直面する可能性があります。そこで、実施期間中は、専門家をアドバイザーとして配置し、企業、学生のフォローができる体制をとりました。アドバイザーは、インターン期間中、定期的に参加学生と懇談をするなど常に現状把握に努めました。

このように実施した「スーパーインターン養成講座」は、受講生6名、脱落者も出ることなく、またトラブルもなく無事に講座を修了いたしました。企業、学生ともにメリットを享受できる充実した事業になったと思います。2006年1月11日には、受け入れ企業の担当者を招き、それぞれの学生がインターンシップで学んだことを発表し、講座を締めくくりました。

講座の運営に携わる中での感想ですが、学生達のドラスティックな変化に大変驚かされました。本講座では、講座の節目ごとにプレゼンテーションの機会を持ち、その都度ビデオで記録したのですが、話しぶりに大きな成長が見られました。また、プレゼンテーションの機会を重ねるごとに、話す内容もより論理的になり、説得力あるものになったと感じます。話す技術の向上は、人と人との距離を縮め、コミュニケーション力を高めます。その力が、信頼で結ばれたかけがえのない人脈を構築します。参加学生には、今回の講座で身につけた大きな宝を今後の就職活動、さらに社会生活に活かして欲しいと思います。

最後になりますが、この講座の実施にあたり、受け入れ企業をはじめ、多くの方々にご協力いただきました。ありがとうございました。

地域経済ニューズレター第 7 2 号

2005年 3 月 31 日 発行

発行／金沢大学経済学部地域経済情報センター 金沢市角間町(☎920-1192) ☎(076)264-5438

編集／地域経済情報センター 地域経済ニューズレター編集委員(碓山洋、安嶋是晴、菊本舞)

印刷所／金沢市中村町28-14 (株) 谷 印刷 ☎242-7267